江南村広報

発行所
江南村役場

今月の納税
固定資産税
第3期

村つくり（三）

村長　馬場栄一

個人としての私は、現在、地位も名誉も慾望も考えていない。長として村を安住楽土の環境として、村民が幸福で明い暮しが出来るよう、寸時も忘れることなく、これが実現に日々精進している。

衣食樹つて礼節を知る

私は前号で「福祉江南村」を建設することを述べたが「福祉江南村」を建設するには、村民の懐工合をよくすることです。「昔から衣食たつて礼節を知る」と言われているが、箸にも棒にもかからないような人も、懐が暖かくなると、だんだん、言葉遣を初め、日常の行動も自然と穏かになつて温情をもつようになる。ふところを暖くするには何といつても、産業の振興発展に俟たなければならない。

一、産業は農工業の二本建

本年度本村中学校卒業生一三五名の内、家業に従事するものは僅かに一三人他の者は進学又は就職したのである。この実状から見る時は、本村の産業は農業及び工業の二本建が考えられる。従つて農業地帯、工業地域、住宅地帯と自から区画つけられるようになる。

二、畜産を伸ばす

耕地面積田三八六〇反、農家一世帯当三・七反、畑は開こん地を含めて五三七〇反、一世帯当五・四反、総計九二三〇反、一世帯平均九・一反で中農層世帯が多く、過小農家数は僅少である。所謂純農村で、米麦養蚕が主で他は副業であるが、近時畜産方面が急激に伸展して来た。殊に酪農養豚が其の最たるもので、国の施策と相伴つてこの種の方面の成長に努め、漸次企業化するよう努力を惜しまない。

三、工場誘致

中南部は林地多く現在なお、五八九町歩の平地林を有し、殆んど平坦台地であるので、近時工場誘致の気運が高まり本年度二～三工場等の設置が可能となり、将来工場団地或はこれに附随して、住宅団地の設置により一大工場地として、発展し得る可能性が出て来たので会剰人口、次三男対策問題の解決も難事ではない。

四、専業農家を推進

政府は農業基本法を近く制定。専業農家の育成強化を図ろうとしている。即ち他産業所得は七%乃至八%の伸を示しているにもかかわらず、農家所得は僅かに三%乃至四%の伸びであるから、他産業に比べて低いので農業の合理化、機械化、共同化によつて、一戸平均二町歩以上を耕作するようにしなければ、いつまでたつても、水呑百姓の悲しみを脱出することは出来ない。

五、新農村建設指定村

本村は昭和三十四年度から、新農村建設指定村となつたので、建設計画を樹てて、これに基いて逐次実施に移したいと考えている。

（以下次号へ）

◇　◇　◇

深井戸反対運動に想う

滑川ゴルフ場用水井戸を本村地内に設置しようとする計画に対しては、村民大会を開催し多数の総意に基いて徹底して反対し、これを阻止することを決議すると共に、現地には連日村民が張込んで監視して万一工事に着手するようなことの無いように頑張っている。これはとりもなおさず、郷土を愛し、安住楽土として住み良い所として永久に子孫を繁栄せしめるために、地域外に生物の生存上欠くべからざる水を取られない努力であり、当然のことであろう。その土地は其処に住む人によつて耕され、そして土地の水はその土地で使わなければならない。

そこで現在は、本腰を入れて反対運動に熱中して深井戸を村外へ追放すべきであるが、今後考えなければならないのは地下数十尺掘り下げれば莫大な水量が地下水として流れているという事実である。水、水、水。我々の生活、営農に必要な水が多量にあるこの水を他人に利用させなくとも、自分自身で利用することによつて、もつともつと進んだ営農確実に収穫の挙げられる農業とし、更には安定した生活を送ることができることになる。

いいかえればこの大量の地下資源を自分自身で掘り出して使わないから、遠くから来て他所の土地へ持つて行こうとしたのではないだろうか。我が郷土が自分のものであつて、自分が利用する権利と義務があるのだから、必要な水は自分で利用するこれから後自分で利用することを計画しなければならない。深井戸発掘を反対し併せて本村農業の生産の安定を図るため、村民の総てが考え、協力一致して、難関を突破いたしましょう。

としよりの日

九月十五日は「としよりの日」である。

この日から一週間としよりの福祉週間としてとしよりの健康と長寿を祝して、更に幸多かれと御家庭においても何か心のあたゝまるお祝をしてあげたいものである。

もと／＼としよりのいる家庭は明るいものであり、その家風が、自然子供の教育にもよい影響を与えることになり、としよりのいる家庭でうまくいつていないというのはやはり、としよりのガンコとヒガミが原因の場合が多い。また「おれの若い時は」の口ぐせなどは若い人の反ぱつを買うもとである。

また趣味のちがいなども一因となる。

若い者は野球、としよりは浪曲というようなちがいもお互の話合、ゆずり合で解決し、陰気に引こんでいないで若い者と一しよにとけこむ心構えが肝要ではないだろうか。なんでもざつくばらんに話したり、頼んだり、またやらせた方がよい。

人間は老若を問わず責任あるところに希望と勇気が生れる。もう用のない人間だと思いこませると老人は一そうガンコ、インケンになるものである。村でもとしよりに少しでもプラスになるように敬老年金を支給しているが国に於ても老令年金が支給され老人の経済的な悩みが少しでも軽減することができたなら幸である。何といつても青壮年時代に老後設計をたてて老後の経済的安定をはかることが大切である。

全国一せい国勢調査を

皆さん御存知のように本年は非常に統計の多い年です。

一九六〇年世界農林業センサスに引続いて事業所統計、商業統計が同時に実施せられましたが、皆様方の深い御理解と御協力によりまして順調に進捗致しました。

次に本年十月一日現在により全国一斉国勢調査が実施されます事は既に御存じのとおりであります。此の調査は、十年毎に実施されその中間五年目毎に簡易な調査が実施されますが、本年は丁度十年目に当る年で、本調査が実施される事で御座居ます。従つて調査の内容は極めて多岐に亘つて居ります。その調査事項は人口に関する調査でありまして氏名、性別、生年月日等の基本的事項から教育、配偶の関係、出産力、昼夜間人口、就業状況等に至るまで二十二項目に亘つて居ります。

この調査の結果については国会、地方議会の議員定数の決定、地方交附金の算定の資料となり国家行政のための基礎資料ともなるもので非常に意義の深い調査であります。

次にこの調査を実施するに当り指導員と調査員の制度が設けられて居りまして、この任命につきましては村長の選考により、県知事の内申を経て内閣総理大臣が任命致します。本村の指導員、調査員は左記のとおり任命せられました。

指導員　二名
寺山喜一　伊藤正

調査員　二十七名
柴田守次　新井保雄
市川栄一　平山稔
馬場宏　舟橋利之
滝田美欲　関口公平
小沢孝平　志村正
柴芳明　瀬山倉三
福田祀晴　関口久吉
橋本博治　笠原壮介
富岡賢久　寺山保男
吉田久雄　寺山正三
杉田一二　高藤義明
野口宗作　岡部弘光
増田秀夫　海老沢丈夫
松本喜久司

以上の調査員が九月末日受持の毎戸にお伺い致し調査する事になつて居ります。前述致しましたとおり非常に大切な調査で然も国際的調査でありますので、此の調査が完全に遂行できますよう、皆様方の絶大なる御支援と御協力をお願い申上げます。

「申告は真告に」

☆気は若い　（としよりの福祉週間　9月15日～21日）

文部省指定

小原婦人学級を開設

今般小原地区婦人学級が文部省の研究指定を受け去る八月二十六日開設の運びとなりましたので、その概況をお知らせし、村民各位の御協力御後援をお願いする次第です。

本年度は大里郡市町村で四ヶ所の指定ですが、文部省に於ても、婦人の資質向上を目ざし或程度の補助金迄出して推進しておりますので、村及び教育委員会も大いにこの趣旨に則って、主として婦人会を中心に教育委員会、公民館共催の下に昭和三十六年三月迄開設することになりました。

以下その大要を述べて見ますと、

一、**基本目標**　郷土の諸施設や機関を出来る限り活用し経験と理解を深め、体験を生活に生かそう。

二、**具体的なねらい**

1 私達の郷土の重要施設や機関に対する深い理解を持とう。

2 移動教室を多くし、体験を豊富にして、学んだ体験を生活にできる限り生かそう。

3 話しあいの場を通じて、学級生同志のなごやかな結びつきを図ろう。

4 鉛筆を気易くまめにとり、又はつきり自分の意見が述べられる婦人になろう。

三、**学習計画**（おもなるものを摘記）

1 文珠寺と禅

2 宗教と私達の生活

3 県立小原療養所に於て現地研修

4 県立小原種畜場に於て現地研修

5 小原4Hクラブとの話しあい

6 村議会、裁判所等の傍聴

その他盛り沢山に基本目標に添うよう計画が立てられております。

四、**学級生**　総員　一一二名　その内わけ

須賀広　一五　野原　九　小江川　二〇

塩　一〇　板井二六　柴　二

千代　一〇　種畜場二〇

五、**学習ノートについて**

各学級生に、本学級独得の印刷したノートを持ってもらい、より学習効果を高めるようにしております。その内容は、月日、時間、課題、勉強の内容、方法、講師及び助言者、会場、評価、という欄を設け学習に便なるよう工夫しました。先ず好箇の学習の友であると思います。

是非共提灯縮みにならぬよう、有終の美が収められるよう、学級生は勿論、一般各位の絶大なる御声援をお願いいたします。

基本選挙人名簿の登録届出を

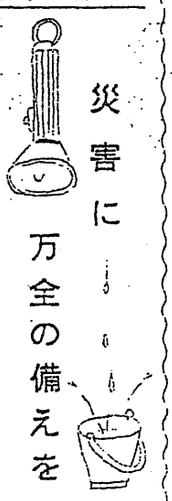
本年もいよいよ基本選挙人名簿の調製期日が目前にせまりました。此の名簿は毎年九月十五日現在により本村の投票区毎に以下述べる諸原則により調製されるのであります。調製の方式は職権調製名簿でありまして本人の申告をまたず職権をもつて選挙資格を調査し選挙権者を登録する名簿でありますが四五〇〇人に近い選挙権者をわずか四人の職権者で調査をなし調製する事は容易ならぬ事でありますし尚脱漏者も出来ないとも限りません。その為一定の期間に縦覧をしまして皆様方選挙権者の確認を願うことになつて居ります。然しその時期は恰度秋の取り入れ時期になりますのでほとんど縦覧に来る方もないくらいです。結局此の縦覧期間中に誤記二重登録等がありました際に之が発見されず十二月二十日に至り確定されてしまう事になります。いざ選挙だと云う時名簿に登録されて居りませんと投票する事が出来ません。以上の様な点を一掃出来ます様に今回敢えて皆様方からの届出をまつて調製する事に致しました。左様御了承願いまして資格者は一人も漏れなく届出されます様お願い致します。此の届出に要する用紙は各字区長さんをお願い致しまして各世帯に配布致し度いと存じます。尚届出の期間は九月十五日までに一括本村選挙管理委員会に提出されます様広報を通じてお願い致します。

届出をされる人

1、九月十五日現在で引続き三ヶ月以上本村に居住している人

2、昭和十五年十二月二十一日までに生まれた人

災害に万全の備えを



「防災の日」が九月一日にきまりました。国民の一人一人が、台風や高潮、津波や地震などについての十分な認識をもち、こゝろがまえをあらたにするというのが、その設立のねらいで、今年から毎年この日がえらばれたわけです。

災害を防ぐにはどうしたらよいか、被害を最少限にくいとめるには、どんな準備が必要かという問題などについて、国や県、村ではもちろんのこと、各家庭や職場でも真剣に考えて行こうとする運動です。

さしあたり、台風シーズンにそなえていくつかの注意をあげてみよう。

※ ラジオなどで台風予報が入ったら、進路やスピードに注意する。

※ 遠い旅行は見あわせる。

※ 近くにある川や沼の危険な所はよく知っておく。

※ 万一の避難場所や道順は家族全員がおぼえておく。

※ 風速二〇メートル以上の風になりますと、雨戸などが吹き飛ばされますので、くぎづけにしたり、かん抜きをしたりして、家の補強を十分にしておく。

※ 避難にそなえてニギリメシ、乾パン、かん詰などを準備する。飲み水も忘れずに。

※ 家庭常備薬、ローソク、マッチ、懐中電灯なども用意し、火の始末も忘れないように。

ともあれ、生活の安全はだれのためにする、というものではない。めいめいがその分を守り、明るく豊かな日々を送れるように自覚をもつことが大切です。

明るい社会のために

「子供は鏡である」と申します。その家庭の環境がそのまま子供の上に映つて円満な夫婦、明るい家族関係の家庭は子供もすくすくと健全な社会人として育っていきます。

戦前戦中の子供の夢はよく「俺大将になるんだ」と言つたものですが、今の子供にはそのような具体的な夢がないこと、歴年年令は子供でありながら体位の向上により肉体的には大人であるという現象、大人と子供との限界が成人式という形で行われて大人として自己の責任は自分で負うという意識を高めてはいるが、一部の例外においては形式的なものに終り、自意識を盛上らせることのできないこともあること、マスコミの影響により大人の社会の悪の面のみ見聞する機会の多いことなどにより、非行の誘因となることが周囲に充満していることのないので、家庭においては暖い目と、柔かい愛情の中で育てて教けることが一番望ましいことであり、子供の躾は「四ツほめて一ツ叱れ」と申しますが、どの子供にも一人一人に長所と短所があり、その各々が個性となつて現れ、芽となり、木となり、花となつて人間が形成され社会人となり、社会生活の一つの核となつて営まれるところのその根は家庭における生長期に決せられるもので家庭の感化は重要でありなおざりに出来ないものであります。

短所は適当に抑えて、長所は充分に伸ばすような家族の配慮があつて初めて完成されるものであることを念頭におかれて、村内全家庭が子供の躾に意を注がれて健康な精神の社会人を作つて戴けますよう希ってやみません。

家族に異動を生じたら……すぐ届出を……

国民健康保険に加入している家で、出生、死亡、転出転入等の異動のため、役場へ届出の際は、必ず受診証を持って来て下さい。

受診証を提出していたゞかないと、家族者の変動による保険税の変更や、受診証の不正使用、診療不能等いろいろの問題がおきて御迷惑をおかけすることがあるかも知れませんので、皆様の御協力をお願いいたします。

尚社会保険加入脱退等の際にもすみやかに届出をお願いいたします。

メモ

卵はバランスのとれた栄養食品

卵はリン、鉄分、ビタミンAを含み、卵白にはアルブミン、卵黄には、ビテリンが含まれ発育の栄養源である。

半熟卵がいちばん消化しやすく次が生卵、ゆで卵がいちばん長くかかる。

九月のたより

新涼、残暑、台風と九月の天候は複雑ながらも、ゆきかう雲、草木の色も、さすがに秋らしく変わる。農業の方々も、勤労者もこれからずんずん仕事の能率もあがつてゆく。家庭では秋の季節こそ夏の始末を季節の移り具合をみながら適当に整理したいものです。

老人の日（十五日）や秋分の日（二十三日）を中心になにか家庭のレクリエーションを企画するのも家をあずかるものの、たのしみの一つとしたい。

㊌ 洋装がふだん着になつたいま、季節の衣替えなどという言葉があまりぴったりしなくなった。九月の普段着は、夏着の上に朝夕はおるものが一枚あれば十分。

ふとんの手入れの仕残したものはなるべく彼岸のころまでに仕上げ、夏ぶとんの仕立かえなど手きわよく……。

㊍ 涼しさが続くこと気がゆるみ、食物の操作に手ぬかりができるもの。調理にも、貯蔵にも、また食中毒の警戒をしたい季節です。涼風と共に増してゆく食慾に、夏のつかれをとり戻す大切な時期でもあるから、食品の取り合わせには十分気を配りましょう。

㊎ 台所の清掃をぜひしておきたい月です。夏の高温多湿で、戸だなのカビ、天井や壁のくもの巣、ガラスのよごれなど、夏の間の乱れを一掃して陳覧の秋の調理場にいたしましょう。

秋まきの花の種など彼岸前におわりたい作業の一つ。